

令和6年度海外派遣成果の公表

交換留学

留学の種類	派遣国	派遣大学等	期間	派遣人数	目的等	単位認定	認定単位数	認定認定者
交換留学	カナダ	カモーンカレッジ	4カ月	1	外国語中級者から上級者を対象とし、留学生用に提供されている外国語科目を履修し、提携校での学びや生活を通じて、国際感覚を身につけることを目的としている。現地では英語授業を月～金の週20時間、計14週間受講する。事前・事後の指導や帰国後の報告会、振り返りを通して、研修の目的を明らかにし、成長の成果を実感できるような留学となっている。	有	16単位	1
交換留学	中国	浙江工商大学	4カ月	1	外国語中級者から上級者を対象とし、現地大学では初級中国語及び文化を学ぶ授業科目を履修し、学びや生活を通じて、国際感覚を身につけることを目的としている。 2 現地では、中国語授業及び日本・中国文化に関する授業を計18週間履修する。事前・事後の指導や帰国後の報告会、振り返りを通して、研修の目的を明らかにし、成長の成果を実感できるような留学となっている。	無	-	-

長期語学研修

留学の種類	派遣国	派遣大学等	期間	派遣人数	目的等	単位認定	認定単位数	認定認定者
夏学期長期語学研修	カナダ	ビクトリア大学	4カ月	3	外国語中級者から上級者を対象とし、語学力だけではなく、国際感覚を身につけることを目的としている。現地では英語授業を月～金の週20時間、計14～15週間受講する。	有	4～16単位	3
冬学期長期語学研修	カナダ	カモーンカレッジ	4カ月	3	事前・事後の指導や帰国後の報告会、振り返りを通して、研修の目的を明らかにし、成長の成果を実感できるような研修となっており、学びの成果を次のステップへとつなげることができる研修となっている。	有	2～16単位	2
冬学期長期語学研修	オーストラリア	ディーキン大学	4カ月	1	外国語中級者から上級者を対象とし、英語授業を月～金の週20時間、計14週間受講する。語学力向上だけでなく、ホームステイやアクティビティを通じて国際理解を深め、自身の可能性を見出すことを目的とし、さらなる語学研修の意欲向上の契機となっている。	有	16単位	1

短期語学研修

留学の種類	派遣国	派遣大学等	期間	派遣人数	目的等	単位認定	認定単位数	認定認定者
夏学期短期語学研修	オーストラリア	ディーキン大学	4週間	5	外国語中級者から上級者を対象とし、英語授業を月～金の週20時間、計4週間受講する。語学力向上だけでなく、ホームステイやアクティビティを通じて国際理解を深め、自身の可能性を見出すことを目的とし、さらなる語学研修の意欲向上の契機となっている。	有	2単位	5
夏学期短期語学研修	フィリピン	ラプラプセブ国際大学	4週間	6	国際コミュニケーション学科1年生全員を対象に、3週間アジア地域の提携大学及び文化体験を通して、国際感覚を身につけることを目的としている。渡航前後にオンライン異文化交流講座や留学事前準備講座を行うことで、現地体験をより深く理解することが出来る。早期に海外体験を行うことにより、海外への意欲を高め、中長期の海外研修の意欲や学びにつなげることが出来る。	有	2単位	5
冬学期短期語学研修	カナダ	ビクトリア大学	4週間	5	国際社会において、文化や言語の異なる海外の教育者と協働し、多文化共生社会に対応した課題解決ができる教員養成を目的とする。現地小中学校で日本語または英語によるアクティブラーニングを行ったのち、FPT大学が実施する語学研修コースにてオンライン事前学習3週間、対面3週間の計4週間の語学研修を行う。宿泊は同大学が提供するホテルを利用する。また、現地大学生とパートナー交流を深めることで文化交流もあこなう。	有	2単位	5

グローバル教育研修

留学の種類	派遣国	派遣大学等	期間	派遣人数	目的等	単位認定	認定単位数	認定認定者
夏学期グローバル教育研修	ベトナム	FPT大学	10日間	2	海外経験の少ない学生を主な対象とし、海外体験の始めの機会として実施する。外国語初級者から上級者の幅広い層が参加できる研修と位置づけ、語学力だけではなく、国際感覚を身につけることを目的としている。	無	-	-
冬学期グローバル教育研修	ハワイ	ホノルルフェスティバル	9日間	6	海外経験の少ない学生を主な対象とし、海外体験の始めの機会として実施する。現地駐在員の講話、現地の歴史・文化体験や日本文化イベントでのボランティアを通じ、活きた英語を体験することや積極性を身につけ、今後の学びに活かすことができる研修である。	無	-	-

学部・学科主体の海外研修プログラム

留学の種類	担当学部・学科	派遣先	期間	派遣人数	目的等	単位認定	認定単位数	認定認定者
人文社会学部国際キャリア学科海外留学等特待生奨学金プログラム	人文社会学部国際キャリア学科	カナダ ビクトリア大学、 インターンシップ	夏4カ月	5	渡航前にTOEIC講座並びにオンライン語学プログラムを受講したのち、現地で4カ月の語学研修を行う。その後現地インターンシップを1カ月実施する。長期にわたる充実したプログラムで使える英語を身につけ、成長を実感できるプロセスとなっている。	有	16～18単位	5
文学部国際コミュニケーション学科海外体験実践演習	文学部国際コミュニケーション学科	インドネシア	夏3週間	13	国際コミュニケーション学科1年生全員を対象に、3週間アジア地域の提携大学及び文化体験を通して、国際感覚を身につけることを目的としている。渡航前後にオンライン異文化交流講座や留学事前準備講座を行うことで、現地体験をより深く理解することが出来る。早期に海外体験を行うことにより、海外への意欲を高め、中長期の海外研修の意欲や学びにつなげることが出来る。	有	2単位	13
		フィリピン	夏3週間	10	国際社会において、文化や言語の異なる海外の教育者と協働し、多文化共生社会に対応した課題解決ができる教員養成を目的とする。現地小中学校で日本語または英語によるアクティブラーニングを行ったのち、FPT大学が実施する語学研修コースにてオンライン事前学習3週間、対面3週間の計4週間の語学研修を行う。宿泊は同大学が提供するホテルを利用する。また、現地大学生とパートナー交流を深めることで文化交流もあこなう。	有	2単位	12
		ベトナム	夏3週間	11	国際社会において、文化や言語の異なる海外の教育者と協働し、多文化共生社会に対応した課題解決ができる教員養成を目的とする。現地小中学校で日本語または英語によるアクティブラーニングを行ったのち、FPT大学が実施する語学研修コースにて4週間の語学研修を行う。宿泊は同大学が提供するホテルを利用する。また、現地大学生とパートナー交流を深めることで文化交流もあこなう。	有	2単位	11
教育学部海外教育実践プロジェクト	教育学部教育学科	ベトナム FPT大学、 教育インターンシップ	冬4週間	8	国際社会において、文化や言語の異なる海外の教育者と協働し、多文化共生社会に対応した課題解決ができる教員養成を目的とする。現地のモンテッソーリスクールにおいてCEI11研修を実施。ビクトリア大学を運営センターが実施する語学研修コースにて4週間の語学研修を行う。	無	-	-
教育学部海外教育実践プロジェクト	教育学部教育学科	カナダ ビクトリア大学、 教育インターンシップ	冬4週間	8	国際社会において、文化や言語の異なる海外の教育者と協働し、多文化共生社会に対応した課題解決ができる教員養成を目的とする。現地のモンテッソーリスクールにおいてCEI11研修を実施。ビクトリア大学を運営センターが実施する語学研修コースにて4週間の語学研修を行う。	有	2単位	7
経営学部インターンシップ	経営学部経営学科	ベトナム FPT大学、 インターンシップ	夏2週間	9	FPT大学が実施するインターンシップコースにて事前英語1週間及び現地企業等でのインターンシップ3週間の計4週間のインターンシップを行う。宿泊は同大学が提供するホテルを利用する。また、現地大学生とパートナー交流を深める。	無	-	-
看護学部国際看護フィールドワーク	看護学部看護学科	フィリピン ACT大学看護学部、 現地看護協会・孤児院・病院 など	夏1週間	11	渡航前学習として、訪問国の概要や保健医療福祉政策・健康課題、教育・看護教育を学ぶ。現地看護大学の視察及び学生交流、孤児院におけるヘルスケア及びホームステイの見学を行うことで、国際的な視点での健康課題を理解し、健康観、生活習慣、保健行動の多様性を学び取るとともに、国際社会における看護の役割を深く学ぶ。	有	1単位	11
釜山カソリック大学海外研修	看護学部看護学科・人文社会学部人間福祉学科・看護学研究科	韓国 釜山カソリック大学、現地医療機関、福祉施設など	夏3日間 (うち研修1日)	5	現地医療施設や福祉施設でのフィールドワークを行い、日本と同様に少子高齢化が進んでいる韓国において、釜山カソリック大学の看護学部・社会福祉学科の学生と本学学生が交流学習を通して、認知症に関するグローバルな視点や倫理観の多様性を理解する。異なる専門分野の学生が協同で学習することで多職種連携の重要性を理解する。	無	-	-
日韓学生の多文化体験プログラム	短期大学部保育科	韓国 新丘大学及び附属幼稚園、多文化家庭支援センター、文化体験フィールドワーク	夏3日間	8	事前学習では、渡航前に日本の保育施設の保育士の講義や見学等を行い、「異文化間理解」についての気づきや問題意識を深めた上で、学生自らが韓国での活動を計画する。渡航後は現地で保育を学ぶ学生と本学学生がともに文化交流活動の計画及び教材作成等を行ったのち、現地幼稚園で活動を行う。帰国後は保育科1・2年生合同授業で発表を、研修に参加しなかった学生へも成果を共有することで、研修で得た知識や体験をさらに深く考え、今後の保育活動へつなげることができる。	有	1単位	8